

# あうとのみあ

地域・地元 に根ざす  
公立中高一貫校受検  
中学受験・高校受験の

SO YOU!  
早友学院

あうとのみあ とはギリシャ語で自立を意味し、早友学院の指導理念を象徴することばです。

## 受験学習の基礎基本！夏期講習と特訓授業で、学習に徹する習慣を身につけましょう

年度始めの新学期当初は世の中が落ち着かず、新入生にとっても、来年の入試を控えた小6生や中3生にとっても、緊張の日々が続いたことでしょう。新型コロナウイルスも沈静化を見せていますが、引き続き対応を徹底してまいります。

世の中では、連休の休みボケから心がどこか緩みがちな様子も見受けられます。早友学院の場合、連休半ばに2・3日ほどの連休特訓授業がありましたから、受験生はあまり、学習習慣を見失ってはいないかと思いますが、入試の目標をしっかりと見定めた夏期講習への参加を準備するには、今一度兜（かぶと）の緒を締めて、日々の学習へ真剣に向き合う必要があります。

夏期講習は小6生や中3生にとって、受験学習の成果を二学期の学力向上へと結びつける最大の山場です。小6生は模試の結果で確認した自分の弱点から目を反らさず、課題を克服する“やる気”を奮い立たせましょう。中3生はもうすぐVもぎがありますね。「模擬試験は実力をはかるものだから、準備・対策しない」と考える人がいますが、それは間違いです。しっかりと準備・対策をして臨むからこそ、本当の弱点や課題が明らかになるのです。必ず入試本番の気持ちで臨みましょう。

学院で学んだ先輩たちから聞いていると思いますが、早友学院の夏期講習がとことんこだわるのは、徹底した『基礎学力』の習得と鍛錬です。つまり、築き上げた基礎学力を土台に受験学習をすることで、自在に応用のきく完璧な学力（＝受験力）が実現できるのです。そして、夏期講習プログラムに組み込まれた特訓授業では、これでもか！これでもか！という長時間授業にチャレンジします。大きなエネルギーが必要になりますが、こ



両国附中・金田校長先生に聞く

の授業を乗り切ると、毎年、小6生は算数、中3生は数学・英語に自信がついたという達成感で笑顔が溢れます。

もちろん、受験生でない学年も将来の受験のためにも、意欲的に取り組みましょう。人は誰でも「何々したいなあ！」と望みますが、それを実現するにはどんなことでも“ねばり”と“がんばり”が必要であり、『学問に王道なし

(There is no royal road to learning.)』ということです。

三日坊主では夢や希望は達成されません。受験することの意義は、願うことを達成する努力を絶対にあきらめずに続ける（つまり、継続は力なり）を実践し、自ら実感することです。夏の挑戦は近づいています。

### 2022 夏期講習

期間：7/21～8/31

※講習の日程は、各教室で異なる場合があります。

コース	学年	科目	総時間
小3 脳育授業	小3	脳育授業	8
	小4	思考する算数・科学系、読解作文・社会系	18
公立中高一貫校受検	小4	サイエンス入門	4
		思考する算数、読解作文	33
	小5	サイエンス	6
		算数特訓	9
	小6	思考する算数、読解作文	56
		算数特訓	12
私立・国立中学受験	小4	算、国、理、社	52
		算、国、理、社	78
	小5	算数特訓	12
		算、国、理、社	90
	小6	がむしゃら勉強会	36
		英、数、国、理、社	48
高校受験準備	中1・2	英、数、国	36
		英、数、国、理、社	96
高校受験	中3	英、数、国	64
		英数特訓	36
		英、数、国、理、社	96

※総時間数に講習会テストは含みません。

## 小6公開模試 小6首都圏模試 中3Vもぎにむけて

受験学年の模擬試験が始まっています。4月には私立中受験コースの合不合格判定テスト・首都圏模試、5月には公立一貫コースの学院主催の公開模試、7月（6月）には中3高校受験コースのVもぎが始まり、入試に向けた準備が本格的に始まります。

さて、模擬試験を受けることにどのような意味があるのでしょうか。例えばスポーツの「練習試合」は、試合形式で日頃の成果を試す「真剣勝負」でもあります。この真剣さが重要です。模擬試験でも同じです。必死に取り組むことで大きな効果を得られるのです。

しかし、せっかく模試を受験しても、成績に一喜一憂するだけで終わってしまっただけでは意味がありません。成績が良いにこしたことはありませんが、模試の最も重要なことは、今後の勉強にどう役立てるかということです。今の自分の実力を知り、何が足りなかったのかを分析し克服することにより、学力を上げる機会に

することが大切です。

では模試の後、何をしなければいけないのでしょうか。まず解き直しです。間違えた問題・解けなかった問題は、どこをどう間違えたのか、どのように解けばよかったのかをしっかりと確認しましょう。そうすることが、自分の弱点を無くしていくためのしほり込んだ勉強になるはずですが、模試での間違いや失敗は学力アップのチャンスと考えましょう。本番は一つの教科で合否が決まるのではなく、総合点で判定されます。必要なのは総合力です。弱点補強にこそ、総合力向上の鍵があるのです。

また解き直しのポイントは、試験終了後に配られる解答・講評をきちんと理解することにあります。模試の緊張がさめないうちに自宅に直行して、徹底的に復習することで、模試は生きてきます。そして解説を何度読んでも理解できない部分や、解答だけでは解けなかった問題には印を付け、翌日には教室で先生たちに質問し、疑問点を解決しておきましょう。

では解き直しが終わった模試の問題をどうするか？ 試験当日だけの復習で終わらせてしまうのではなく、模試の問題・解説は、いつでも使える状態にしておいてください。捨ててしまうなどとい

うのは論外です。種類ごとにファイルし、何回でも復習できるようにしておきましょう。

何度も解き直しをすることには意味があります。模試直後に徹底的に復習しても、「わかったつもり」になっただけで、身に付いた理解になっていない場合もあります。特に、夏休み前の今の段階では、自信を持って理解したと言い切ることは難しいと思います。しかし、I期を終了し夏期講習を終えた段階で復習を試してみれば、かなりの部分を「わかって解く」ことができるようになっていくはずですが、またそれが、「自分で解くことができる」という自信にもなるでしょう。そこまで復習して使い込んでこそ、模試を受けたといえるのです。

もう一つ、自分のこれまでの答案を少し見直してみてください。「読んでもらえる字」になっていませんか。「意味の通る文・文章」になっていませんか。自分にしかわからないものになっていませんか？ 提出物であることを意識した答案にすることも大事ですよ。

最後に、学院では模試ごとに父母面談や生徒面談を実施しています。面談を通じ、今後の学習法や指針を具体的にアドバイスしていく予定です。

(亀戸教室 加藤 将茂)

## 両国附中・金田校長先生に聞く

動画撮影時に聞き手が校長先生との打ち合わせ時に聞き合せた情報をまとめたものです。※印は聞き手が加えた情報です。

### 大学実績について

現役での合格89%を達成した。国立には71名が合格している。地方国立大学は医学系を含め、多く合格している。(国公立医学部3名)

東京藝大にも合格者を出した。文系・理系にとどまらず、芸術系もハイレベルな進学先を輩出する。

生徒のバランス的に若干理系に偏るが、これは適性検査Ⅲを実施しているせいだ。

### 今春の入試について

例年に比較して、女子の受検者数が減った。(※昨年比50名以上減、男子は8名の減にとどまる。)

適性検査Ⅰは、原点回帰で本人の考えを重視する形にした。

適性検査Ⅱは荒れた。コロナでの学びの停止が原因と思われる。

適性検査Ⅲが、独自作成なので、ウェイトも置き、適性検査Ⅲで勝負が決まる。今年から適性検査Ⅲも45分となったので、受験生も取り組みやすくなったのではないかと。

### 新入生について

定員が男女各60名から80名になっても、全体的にはレベルは低下していない。良い生徒たちが入ってくれた。

入ってからの指導として書く作業・読み取る力を育てていく。様々な行事の際に振り返りとして様々な作文等を書いてもらうことで、中高6年間で書くことの取り組みのやり返しを行っていく。

予習復習をしっかりこなしていける力が大切だ。これについていけるかが試金石。

### これからの両国について

ハードではなくソフトで勝負(校舎が若

干古いが、学習指導面をより充実させていく)

他の都立高校だけでなく、私立高校(桐朋や上野学園)なども見学に来ている。指導については隠すことなく、共有できるものは共有していく。

給食も校内調理である。食材やメニューのいわれなども食育教育という観点だけでなく、教養としても身につけさせている。

大学共通試験に「情報」が入るが、他校では兼任するケースが多いが、両国には「情報」の専任の教師が配置されている。これも大きな強みだ。他教科も講師もほとんどおらず専任教員率が非常に高い。

(新小岩教室長 依藤 聡)

